

健康社会学 研究室（杉原 陽子 Yoko SUGIHARA）

～ 都市住民の健康と福祉に関する研究分野 ～

研究室：9号館5階565室 E-mail：sugihara●tmu.ac.jp（●を@に変換して下さい）

★進学に関する相談や面談をご希望の場合は、事前にメールにてご連絡ください。

【教員の専門分野】

健康社会学、社会老年学、高齢者福祉



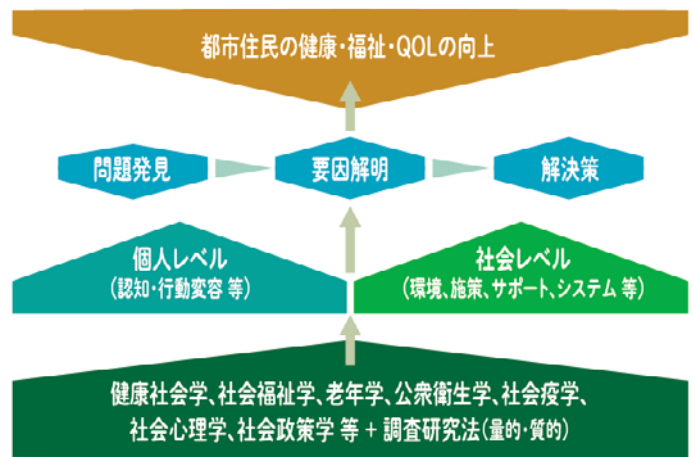
【研究室の概要】

■ 健康社会学（Health Sociology）とは？

『健康社会学』とは、人の健康や福祉（well-being）、QOL（Quality of Life：生活・生存・人生の質）に関する問題を、社会的、心理的、文化的、制度的な観点から理解しようとする研究分野です。健康や病気が社会の中でどのようにして形づくられるのか、その過程を紐解きながら、健康や生活にさまざまな困難を抱えている人の実態を理解し、支援のあり方を考えることが、健康社会学の目的です。

■ 当研究室での学び

健康・福祉問題の理解と解決のために、『健康社会学』と『調査研究法』を中心に、社会福祉学、老年学、社会疫学、社会心理学等の理論と方法を学びます。これらを組み合わせて問題解決の方策を個人レベル（認知・行動変容など）と社会レベル（環境、施策、サポート・システムなど）の両面から思考できるようになることを目指します。



【教員の主な研究テーマ】

1. 高齢者介護に関する諸課題と支援策・支援基盤の検討

高齢者や介護者の孤立化と多様化が進み、特に所得や家族等の私的資源に乏しい人では、虐待、離職、うつ等の問題が生じています。このような問題を防ぐための支援基盤について検討しています。介護保険制度や介護サービスの効果評価、介護人材の確保・定着・育成に関する研究にも取り組んでいます。

高齢者の社会貢献
(プロダクティブ・エイジング)
とストレス・マネジメント

- プロダクティブ・エイジングの健康への効果検証
- プロダクティブ・エイジングの促進・阻害要因
- 就労やボランティア活動におけるストレス軽減

高齢者における健康の
社会階層による格差の
メカニズムと制御要因の解明

- 社会的不利の重層化の機序と制御要因
- ライフコース・アプローチ
- セルフ・ネグレクトの要因と社会的対応

高齢者介護に関する諸課題
と支援策・支援基盤の検討

- 家族の介護負担の軽減
- 介護保険制度・介護サービスの効果評価
- 介護人材の確保・定着・育成

2. 高齢者における健康の社会階層による格差のメカニズムとその制御要因の解明

高齢期は人生の過程で蓄積された様々な社会的不利の影響が顕在化する時期です。ライフコース・アプローチの視点も踏まえ、高齢者における社会的不利の重層化の要因と機序、制御要因を検討しています。具体事例として、セルフ・ネグレクトや医療・介護サービスのアンメットニーズ等について調査しています。

3. 高齢者の社会貢献（プロダクティブ・エイジング）とマネジメント

少子高齢社会への対応として『プロダクティブ・エイジング』という概念が注目されています。高齢者が行う社会や家族への貢献と心身の健康への効果、これらの活動の促進・阻害要因について検討しています。高齢者がボランティア活動や就労等の活動を継続する上でのストレスや健康問題を軽減するための方策についても検討しています。

★研究業績などの情報：<http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/sa/12757.html>
Miyacology（大学広報誌）の創刊1号【Close-Up: TMU Research】にも研究紹介が載っているので、ご覧ください。⇒ <https://tmu-rao.jp/miyacology/3331/>

【研究室の学生の状況・研究テーマ】

- ・当研究室は2017年度からスタートしました。2022年4月現在の在籍者は、博士後期課程2名（社会人2名）、博士前期課程1名（留学生1名）、学部4年生4名です。
- ・大学院生は社会人が多いので、土曜日に研究室ゼミ（メンバー全員が集まって研究発表と討議）を行っています。個別研究指導は、各学生の都合に合わせて行っています。
- ・学生は各自で関心のあるテーマを設定するので、高齢者以外の研究テーマに取り組んでいる人も多いです。研究方法も多様で、定量的研究と定性的研究のいずれも可能です。

■ 学生の研究テーマ

1. 高齢者に関する研究テーマ

- ・都市部の地域在住高齢者の自然災害時における避難場所への不安感の関連要因：個人・地域レベルのマルチレベル分析（卒論）
- ・都市部高齢者における医療・介護サービス利用に関する不安感の関連要因（修論）
- ・虚弱高齢者の社会参加に関連する地域環境要因の検討：健康高齢者との比較（修論）
- ・介護施設職員の仕事満足度と就業継続意向に関連する職場環境要因（修論）
- ・介護労働者のキャリア形成：離職防止策の検討（卒論）
- ・認知症への理解を深めるためのボードゲームの開発（卒論）
- ・コロナ禍における高齢者の社会参加促進のための情報提供方法の検討（卒論）

2. その他（高齢者以外）の研究テーマ

- ・ネガティブな被養育経験を有する母親に対する保健師の支援プロセス（修論）
- ・シングルマザーへの公的支援の現状と課題：当事者ニーズとのギャップに着目して（卒論）
- ・婦人相談員に対する教育プログラムと支援体制の検討：役割ストレスの軽減と専門性の向上に焦点をあてて（博論）
- ・放課後子ども教室における児童の満足度規定要因の検討（卒論）
- ・都市部における地域住民の主体的な支え合いの成立過程に関する検討（博論）
- ・大学生の食生活改善のための取り組みと評価（卒論）
- ・プレゼンティーズムに着目した健康経営の施策の検討（卒論）
- ・新型コロナウイルス感染症への政策対応に関する国際比較研究（卒論）